

輸出事業計画

※申請者名：(株)ペントフォーク、品目：米、米加工品

1. 輸出における現状と課題

当社は、水稻栽培を中心に、自社産米を使った米粉パン・米スイーツ・米麺などを製造、自社の直売所やレストランで販売する6次産業化を実践している。

高アミロース米(インディカ種)の持つレジスタントスターチの特徴を活かした当社の米加工品は、海外でも高いニーズがあると考え、積極的に海外展開を図っている。

輸出のパートナーづくりを進めている中、海外のビーガン向け商品改良やFSSC22000などの認証取得が求められるようになった。

また、コロナ禍においては人の移動が制限されることから、WEBツールを活用して商品の魅力を伝える方策も求められている。

加えて、海外展開の拡大に伴い、安定的にインディカ米を確保するため、連携農家を拡げる必要がある。



2. 輸出事業計画の取組内容

(1) 輸出先別パートナーの確立と販路開拓

- ・アメリカ、ヨーロッパ、アジアなど輸出先に応じて、信頼できる輸出パートナーを確立し、グルテンフリーの米加工品を海外に拡げる。

(2) 商品のブラッシュアップや改良、PRツール作成

- ・海外の健康志向層を念頭に商品の商品のブラッシュアップや長期保存試験などを実施
- ・海外渡航が困難な状況下においても、米粉パンや米スイーツなどの製造方法が伝わる動画を制作し、海外バイヤーに商品の魅力を伝える。

(3) 輸出先国が求めるHACCP等認証に対応するための施設整備

- ・安全な検査体制の構築とFSSC22000およびGFCOの認証に必要な菌検査などの施設を整備する。

(4) 加工用米・米粉用米（特にインディカ米）の産地づくり

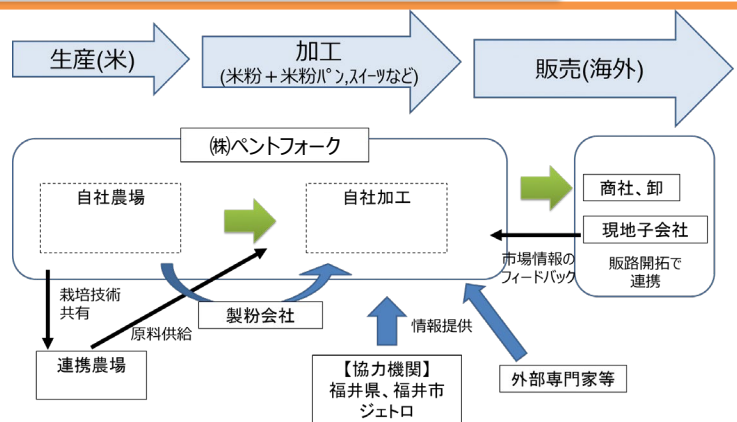
- ・原料となるインディカ米を生産する連携農家の増加と栽培技術の向上を図る。



この取り組みを通して、米加工品の市場拡大を図り、輸出事業を売上の新しい柱に育てたい。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

- ・原料については自社農場のほか、県内外の連携農場からも確保する。
- ・生産から加工、販売の各段階における課題を協力機関の助言を得ながら解決していく。



4. 輸出目標額

項目	現状（令和元年）	目標年（令和5年）
輸出額	—	38,800千円
輸出量	—	97 t
輸出先国	—	アメリカ、フランス、香港 台湾、シンガポール、ベトナム